



夏休みが始まりました。子供たちは、長い長い夏休みだからこそその楽しみや今だからこそ挑戦したいことに胸をわくわくさせています。低学年から中学年へとステップアップし、戸惑うことも成長を実感することもたくさんあったことと思います。夏休みはそれらを振り返り、新たな成長につなげていく大切な時間です。自由研究や読書など、興味をもったことをどんどん追究していくとともに、これまでの学習内容でのつまずきを減らしてく絶好のチャンスです。

確かな学力を育む取組

学園では、各教科の授業内容をより定着させるために、学び残しやつまずきを減らすための個別学習を充実させたり、協働学習を推進したりするなど、授業改善に取り組んでいます。また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習や家庭学習の見直しも図っていきます。

<学園における学力向上の取組>

- ・校内研究を通して、「思考力・判断力・表現力等」の向上を目指しています。一人一人がじっくりと考える時間を確保するために「個で思考する」→「話し合い、ICT活用等を通して思考を共有する」→「自分の考えを問い直す」流れを大切に授業づくりを行っています。
- ・小学部と中学部の教員が話し合い、9年間のつながりのある学習を展開しています。今までに学んだことを生かし、さらに知識・技能を身に付けることができるようにしています。

<地域と協力した学力向上の取組>

- ・放課後学習（小学部木曜日、中学部水曜日）、夏のパワーアップ教室では、学校支援本部と協力して基礎基本の学習の充実を図っています。
- ・知識・技能の定着を確認する「漢字・英語検定」を定期的を実施しています。
- ・土曜日に学校支援本部が「手習い塾」を開催しています。小学部・中学部の児童・生徒が集中して自分の課題に取り組んでいます。さらに、多くの児童・生徒に参加してほしいと思います。

<3年生における学力向上の取組>

- ・習熟度別での算数授業（3年生全体を2学級ずつ3クラスに分けて授業を実施）
→それぞれの算数の知識・技能・思考力に合った授業を展開しています。例えばぐんぐんコースでは、教科書の内容と習熟を図る時間を確保しています。またじっくりコースでは、基礎・基本の確実な定着を目指しています。
- ・木曜放課後学習・夏休みのパワーアップ教室・日大鶴ヶ丘高校生との補習
→それぞれの課題に合わせ、継続的に学習を積み重ねていく環境を整えています。
- ・漢字テスト
→計画的に学習を積み重ねていくことができるように、学習計画表の活用を推進しています。

3年 授業改善プラン

国語

- 文章を読んで、大事な言葉や文を書き抜く力
- 文章を読んで、時間や事柄の順序を考える力
- 文章を読んで自分の経験と結び付け、思いや考えを書く力
- 句読点に気を付けて、文章の中で使う力

(例)

文章を読んで時間や事柄の順序を考える力

◇1～4の段落では、それぞれどんなことを書いていますか。

- | | | | |
|-----|---|---|------------|
| 1 | • | • | 調べ方 |
| 2 | • | • | 調べて分かったこと |
| 3・4 | • | • | 調べたきっかけ、理由 |

句読点に気を付けて、文章の中で使う力

◇□に合う符号を入れましょう。

遠足には□お弁当□おてふきを持っていく。

授業改善ポイント

- 文章を正しく読む力を高めます。
 - 授業時間内に定期的に音読する時間を取り入れます。
(一人ずつ順番に読む方法だけではなく、学習内容に応じて一人読み、ペア読みなど効果的な方法を取り入れます。)
 - ペア学習やグループ学習を取り入れ、意見交流をしていくことで、より深い読解ができるようにしていきます。
 - ICT 機器を活用して文章を拡大し、全体でポイントを押さえながら授業を展開していきます。
- 言葉を正しく理解できるようにします。
 - 辞書を引く習慣を身に付けていきます。
 - 語句の意味を確認するためのプリントに取り組みます。
- 物語や説明文を読んで自分の考えを書く力を高めます。
 - 感想や自分の考えを書いたり、仲間と意見を交流し、考えを広げたり深めたりする活動を充実させます。
- 文章の流れを考えながら、句読点を使える力を高めます。
 - 書く活動を定期的に取り入れ、指導していきます。

算数

- 数の大小を比較する力
- 時刻の求め方を考える力
- 時刻や長さなどの単位の変換
- 計算のきまりや仕組みを活用して考える力(思考力・判断力・表現力)

(例)

時刻の求め方

◇午後4時30分の35分前の時刻は？

時刻や長さの単位の変換

◇1分50秒=□秒

2060m=□km□m

計算のきまりや仕組みを活用して考える力

◇「たし算とひき算」暗算の説明

$$26+57$$

$$26+50=76$$

$$76+7=83$$

◇「あまりのあるわり算」たしかめ算

$$33 \div 7 = 4 \text{ 残り } 5$$

$$\square \times \square + \square = 33$$

授業改善ポイント

- 数の構成への理解力を高めます。
 - 数直線を使って、視覚的に数の大きさを捉えられるようにしていきます。
 - カードやICT 機器を活用して、児童の学習への興味、関心を高めるとともに理解を深められるようにしていきます。
- 【カードを使った数遊びの例】
 - ①0～9までの数字を書いたカードを裏返しにして、4枚選ぶ。
 - ②選んだカードを一番大きな数になるように並べ、大きさを競う。
- ※枚数を増やしたり、作る数を2番目に大きな数や一番小さな数にしたりして、工夫していく。
- 時刻や時間を読み取る力を身に付けます。
 - 数直線を使ったり、模型時計を操作させたりして、視覚的に理解を図ることができるようにします。
 - (算数の授業時間だけでなく、日々の学校生活において様々な場面で時間を意識して行動する環境を整えます。)
- 計算方法の仕組みを理解したり、それを活用して考えたりする力を高めます。(思考力・表現力・判断力の向上)
 - 計算問題ではただ単に答えを導くだけではなく、計算の仕組みや過程を考え、説明する活動に時間を十分に確保します。

3年生の家庭学習

家庭学習時間のめやすは？

40分 (10分×学年+10分)

宿題

《月～木曜日》 音読、漢字らくらくノート、計算らくらくノート ※プリントになることもあります。
《金曜日》 音読、漢字らくらくノート・計算らくらくノートなど、日記



こんな学習をしてみましょう

○授業で学習したことの復習 ○これから学習することの予習
○自分の課題（できていないところ）を克服するための学習
○興味・関心があることを追究する自主的な学習
※学習したことが残るように、家庭学習用のノートを用意することをすすめます

○知識・技能の定着を図る取組 ●思考力等を育む発展的な取組

国語

- 漢字・熟語などの暗記
- 新しい語句を使って文章を作る。
- 国語辞典を使う（意味調べ）
- 音読・読書
読んだ本の題名、ページ数、感想などを記録しておくといいですね。
- 読書した本についての感想や意見をまとめたり、自分の生活と比較して文章を書いたりする。
- 新聞記事や日常の出来事について自分の意見をまとめる。

算数

- 教科書・ノートを見ながら、学習内容の復習をする。
例えば…
- ・計算練習
10の補数・九九や簡単なたし算、ひき算の暗記・繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算・かけ算・わり算（あまりのある計算）
- ・単位、時計の練習
- 問題を解くときに、自分で数直線や図をかくて立式する。（どうしてその答えになるのか、お家の人に説明する）

社会・理科

- 教科書・ノートを見ながら学習内容を復習する。
- 学習問題から疑問に思ったことや、さらに調べたいことを調べたり、実験したりする。

ご家庭に協力していただきたいこと

音読 ←漢字、句読点や文の切れ目など、正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、感想を伝え合ったり、質問して内容を確認したりしてあげてください。

らくらくノート、プリントなど ←終わったら内容を確認してほめてあげてください。似たような問題をつくったり、考え方を言葉で確認したりしてみてください。

日記 ←誤字、脱字、句読点の使い方、段落など子供が書いた文を読み直してください。例文が作文帳に貼ってあります。
読んだ後、日記の下に内容をチェックしたサインをしてください。

～勉強している姿を見守る～

家庭学習は、習慣化することが大切です。取り組む意欲や姿勢、得意なこと、苦手なことは子供それぞれで違うと思います。どのお子さんにも必要なことは、勉強する環境を整え、その姿を見守っていただき、頑張りを認めてあげることです。その中で、子供に合わせて、取り組み方を工夫したり、内容を考えたりしていただくとありがたいと思います。3年生の学習では、内容が抽象的になってきてつまずきが見られることもありますが、子供たちはできることが増え、大きく成長する時期です。もちろん、自主的にできることは大切ですが、目を離さずにその成長の力になっていただければと思います。

「3Hを大切に」

努力したこと、成長したことを具体的にほめることでやる気もさらに高まります。
ほめる …「きれいに書けているね。」「集中して取り組んだね。」など
はげます…「間違いもあったけど、やればできるね。」
ひろげる…「よくできたね。あなたなら、もっとこんなこともできると思うよ。」
「～についてさらに調べてみると楽しそうだね。」など